



2012年3月期

ソフト99コーポレーション

決算説明会

2011年11月30日

注意事項

本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。

この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。

本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。

またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

会社概要

株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資本金	2,310,056,000円
代表者	代表取締役社長 渡辺 泰
従業員数	195名 (2011年 9月30日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

関係会社一覧

社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の所有 割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪府中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪府中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸
(株)パナックス 	大阪府中央区	10百万円	100.0%	役員の兼任
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	
(株)ソフト99オートサービス 	大阪府中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都千代田区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸

※アイオン(株)は、平成23年3月31日付で、100%子会社となりました。

なお、(株)パナックスは、平成23年10月1日付で、アスモ(株)を存続会社として合併いたしました。

事業セグメントの分類

ファイン ケミカル	カー用品(一般用・業務用)	 (株) ソフト99 コーポレーション	
	家庭用品等製品		
	海外事業		 (株)上海速特九九化工有限公司
	樹脂容器企画販売		 (株) パナックス
ポーラス マテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)	
	生活資材部門		
サービス	生活用品企画販売事業	 (株) 暮らし企画	
	オートサービス事業	 (株)ソフト99オートサービス	
	教習事業	 ASMO CORPORATION アスモ(株)	
不動産 関連	温浴事業	 (株) ソフト99 コーポレーション	
	不動産賃貸事業		

※アスモ(株)が営んでいた温浴事業は、平成23年8月1日付で(株)ソフト99コーポレーションに事業譲渡されました。
 また、(株)パナックスは、平成23年10月1日付で、アスモ(株)を存続会社として合併いたしました。

ファインケミカル (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	5,127	4,965	△162	△3.2%
(ボデーケア)	(1,212)	(1,110)	(△101)	(△8.4%)
(ガラスケア)	(1,315)	(1,409)	(93)	(7.1%)
(リペアグッズ)	(1,203)	(1,202)	(△0)	(△0.1%)
(業務用)	(585)	(465)	(△119)	(△20.5%)
(家庭用品等)	(326)	(324)	(△2)	(△0.7%)
(海外事業)	(474)	(460)	(△13)	(△2.9%)
(その他)	(10)	(△7)	(△17)	(—)
売上総利益	2,402	2,256	△146	△6.1%
粗利益率(%)	46.9%	45.4%	△1.5%	—
営業利益	470	338	△131	△28.0%
営業利益率(%)	9.2%	6.8%	△2.4%	—

(注)その他には樹脂容器販売を含んでおります。

ポーラスマテリアル (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	2,308	2,463	154	6.7%
(産業資材)	(1,528)	(1,671)	(143)	(9.4%)
(内輸出高)	(614)	(722)	(108)	(17.6%)
(生活資材)	(781)	(792)	(11)	(1.3%)
(内輸出高)	(397)	(331)	(△66)	(△16.6%)
売上総利益	696	724	27	4.0%
粗利益率(%)	30.2%	29.4%	△0.8%	—
営業利益	320	339	18	5.9%
営業利益率(%)	13.9%	13.8%	△0.1%	—

サービス (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	2,504	2,535	30	1.2%
オートサービス	(1,197)	(1,194)	△2	△0.2%
自動車教習所	(386)	(398)	11	3.1%
生活用品企画販売	(920)	(941)	21	2.3%
売上総利益	583	528	△54	△9.4%
粗利益率(%)	23.3%	20.8%	△2.5%	—
営業利益	138	108	△29	△21.6%
営業利益率(%)	5.5%	4.3%	△1.2%	—

不動産関連 (対前年同期比)

(単位:百万円)

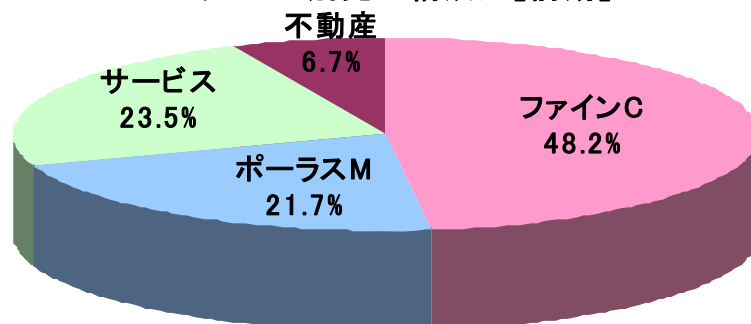
	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	708	701	△7	△1.0%
温浴事業	(573)	(559)	△14	△2.6%
不動産賃貸	(134)	(141)	7	5.4%
売上総利益	178	168	△10	△5.9%
粗利益率(%)	25.2%	24.0%	△1.2%	—
営業利益	146	134	△12	△8.2%
営業利益率(%)	20.6%	19.1%	△1.5%	—

セグメント情報 ①

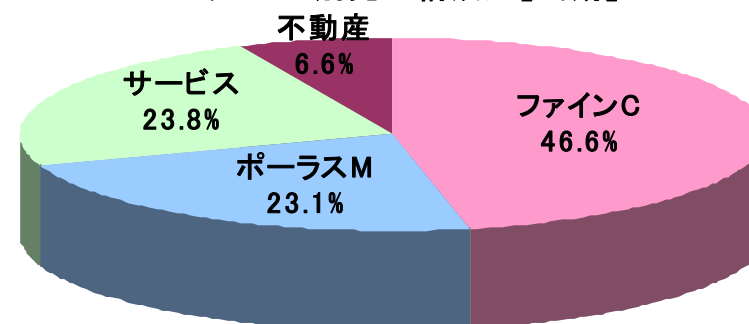
(単位:百万円)

売上高	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	5,127	4,965	△162	△3.2%
ポーラスマテリアル	2,308	2,463	154	6.7%
サービス	2,504	2,535	30	1.2%
不動産関連	708	701	△7	△1.0%
合計	10,649	10,664	15	0.1%

セグメント別売上構成比【前期】



セグメント別売上構成比【当期】

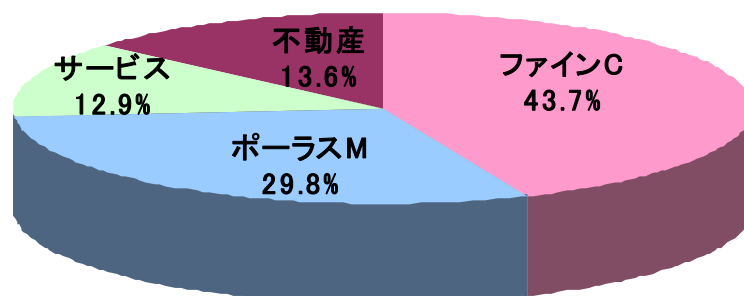


セグメント情報 ②

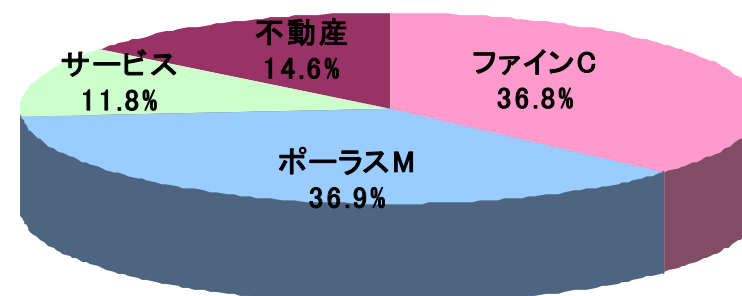
(単位:百万円)

営業利益	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	470	338	△131	△28.0%
ポーラスマテリアル	320	339	18	5.9%
サービス	138	108	△29	△21.6%
不動産関連	146	134	△12	△8.2%
合計	1,079	925	△154	△14.3%

セグメント別営業利益構成比【前期】



セグメント別営業利益構成比【当期】



連結業績 (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	10,649	10,664	15	0.1%
売上総利益	3,866	3,676	△189	△4.9%
売上総利益率	36.3%	34.5%	△1.8%	—
販売費及び一般管理費	2,787	2,751	△35	△1.3%
営業利益	1,079	925	△154	△14.3%
営業利益率	10.1%	8.7%	△1.4%	—
経常利益	1,171	1,024	△146	△12.5%
税金等調整前四半期純利益	751	1,014	263	35.0%
四半期純利益	295	574	279	94.6%
1株当たり四半期純利益(円)	13.67	26.60	12.93	—

要約連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累
営業活動によるキャッシュ・フロー	358	910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,314	△1,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154	△171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△1,110	△1,088
現金及び現金同等物の期首残高	9,016	7,915
現金及び現金同等物の期末残高	7,905	6,826
減価償却費	375	380
設備投資額	1,306	457

連結ハイライト指標 (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	増減
総資産	42,041	43,128	1,086
純資産	37,422	38,365	942
自己資本比率(%)	88.5%	89.0%	0.5%
ROA(経常利益/総資産)	2.8%	2.4%	△0.4%
ROE(純利益/純資産)	0.8%	1.5%	0.7%
1株当たり当期純利益(円)	13.67	26.60	12.93
1株当たり配当(円)	7.00	7.00	±0
配当性向	51.2%	26.3%	△24.9%

要約連結貸借対照表

(対前期末比)

(単位:百万円)

	11年3月期	12年3月期 2Q末	増減額		11年3月期	12年3月期 2Q末	増減額
流動資産	14,443	14,333	△110	流動負債	2,558	2,809	250
現金及び預金	7,166	7,961	794	買入債務	1,013	1,096	82
売上債権	3,064	3,233	169	未払法人税等	226	376	149
有価証券	1,614	302	△1,312	未払金・未払費用	900	902	2
棚卸資産	2,051	2,229	178	その他	417	435	17
その他	547	605	58	固定負債	1,837	1,954	116
固定資産	27,814	28,795	980	負債計	4,396	4,763	367
有形固定資産	22,043	22,036	△6	純資産	37,862	38,365	502
無形固定資産	218	201	△16	株主資本	37,720	38,144	423
投資その他の資産	5,552	6,556	1,004	その他包括利益累計額	142	221	78
資産	42,258	43,128	869	負債及び純資産	42,258	43,128	869

中期経営計画

Spiral Up "FINAL"

2011年4月～2014年3月

経営環境の変化と進捗状況のご報告

中期経営計画 Spiral Up “FINAL”

期 間： 2011年4月 ～ 2014年3月（3カ年計画）

経営理念： 「生活文化創造企業」

・・経営理念は普遍的なものと再定義し、創業以来掲げていた経営理念に原点回帰

経営ビジョン： 未来の『あたりまえ』を発見する

・・顧客の目線を常に意識し、創意工夫をもって、いつのまにか『あたりまえ』となるような、製品・サービスを創出し続けることで、事業の拡大を目指す

基本方針

- ① 成熟化した国内市場において、付加価値の高い、製品・サービスを提供
- ② 拡大し続ける新興国市場に積極的に参入し、事業の拡大をはかる
- ③ 未来の『あたりまえ』を発見するため、技術・ノウハウ蓄積と用途開発を推進する
- ④ 社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す

Spiral Up “FINAL” この半年の環境変化 ①

■東日本大震災(2011年3月11日)により事業環境が大きく変化

①被災地における消費停滞

- ・年間で売上高5億円、売上原価3億円程度の影響を想定(計画に反映済)

②被災地での生産品の供給停止によるサプライチェーンの寸断

- ・石化原料等(容器向け樹脂等)の直接的な影響は一部想定(影響軽微と判断)
- ・サプライチェーンの寸断による自動車生産の停止は想定しておらず。

③電力供給不足による生産活動の停滞

- ・東京電力管内における電力不足については想定しておらず。

※ 震災前に策定した計画に、①の影響を調整したものを中期経営計画として策定し公表

セグメント別の影響と進捗：ファインケミカル ①

カー用品 (消費者向けカー用品＋プロ用美装用品)

① 春先が最需要期であるボディお手入れ製品(ワックス・シャンプー等)が苦戦

- …震災直後の消費低迷(首都圏でのガソリン不足による車乗り控え等も影響)
- …得意先が震災関連の需要を優先した為、積極的な売場展開とはならず。

② 梅雨時期のガラス撥水剤(ガラコ)が苦戦

- …キャンペーン実施もあり売場展開は進む。
- …消費の回復は途上。店頭での販売に影響が残る。

③ ガラコワイパーの取扱店拡大は進む

- …取扱店の拡大は順調に進む。
- …前年度の新規取扱店の通年寄与分も前年比プラスに貢献。

④ 新車販売時に施工されるコーティング剤は苦戦

- …自動車メーカー向けOEMのみならず、ディーラーの下請施工向け自社ブランドも苦戦。
- …メンテ需要である板金業界向けは比較的検討。取扱店拡大も進む。
- …メンテ需要向け新製品や新規OEM先の開拓に活動をシフト。

セグメント別の影響と進捗: ファインケミカル ②

家庭用品等

① 消費低迷の影響でメガネお手入れ新製品が苦戦

…新製品を発売し、メガネお手入れ用品の拡充をはかるも商品育成は途上。

② 液晶テレビやスマートフォン用のお手入れ用品を発売

…メガネお手入れ新製品と共に今後の商品育成が課題。

海外市場

① 基礎原料の供給難により中国での現地生産品の立ち上げに遅れ

…現在は供給が回復。3ヶ月程度遅れたが現地生産品立ち上げは完了。

② 円高の影響による東南アジア市場での既存得意先の苦戦

…売上は苦戦するもインドネシアで新規販路開拓、ベトナムで取り扱いアイテム拡大。

③ ロシア市場での拡販

…震災直後は出荷製品の放射能測定で出荷遅れるが、現在は通常に戻る。

④ 新規仕向先の開拓

…新規仕向先開拓は現在進行中。

セグメント別の影響と進捗：ポーラスマテリアル

産業資材

① 工場（茨城県古河市）施設・設備への震災影響は軽微。副原料等一部供給止まる

- …工場施設は壁面の亀裂等軽微にとどまり、設備関連は影響なし。
- …副原料が一部供給止まるもすぐに代替原料で操業開始。

② 電力供給不足による影響は大きく受ける

- …販売面では、夏季の電力不足を想定した得意先の備蓄生産により出荷量が増加（1Q）
- …夏季1Qの反動による在庫調整は限定的となり、上期トータルでは増加となる。
- …生産面でも、夏季の電力不足を想定し、休日操業等生産量を拡大（1Q）
- …夏季は節電要請に応じて、操業を約1割減少。上期トータルで若干操業減少。

生活資材

① 気化熱を用いた冷却グッズ「サモコンクール」が節電対策商品として好調

- …国内・海外のカー用品の苦戦をカバーする。

新用途開発

① 新規分野については、医療分野向けや二次電池向け等の求評がスタート

セグメント別の影響と進捗：サービス・不動産

オートサービス

- ① ガソリン不足(首都圏)によるクルマの乗り控え
…事故が減少し在庫が減少する。損保会社も震災対応で在庫誘導が減少。
- ② 自動車販売現場の混乱
…主要得意先であるディーラーが新車不足で混乱し在庫が減少。新規開拓でカバー。

生活用品企画販売

- ① 一部得意先で配送センターが被災。企画のキャンセルが続発。(1Q)
…カタログの配送センターが機能停止したり、生活必需品に企画の差替えが起きる。
- ② 防災対策商品や節電対策商品の売上が好調に推移(2Q)

自動車教習事業

- ① 震災の直接的な影響は無し
…一部、復興需要として大型免許や建機オペレーターの取得者が増加傾向に。
- ② 普通車の閑散期に大型車等の職業免許が効率的に稼動

温浴事業

- ① 安・近・短のレジャーとして来店客数は回復の兆し現れる。
…減少傾向にあった来店客数に歯止めが。一方で付帯設備の利用が低下し客単価減少。

平成24年3月期 連結業績予想

単位：百万円

	平成24年3月 2Q(実績)	平成24年3月 (期初予想)	平成24年3月 (修正予想)	進捗率	増減
売上高	10,664	20,900	21,500	49.6%	+600
ファインケミカル	4,965	9,450	9,850	50.4%	+400
ポーラスマテリアル	2,463	4,800	5,000	49.2%	+200
サービス・不動産	3,236	6,650	6,650	48.7%	±0
営業利益	925	1,700	2,000	46.3%	+300
ファインケミカル	338	650	900	72.3%	+250
ポーラスマテリアル	339	550	600	55.6%	+50
サービス・不動産	108	500	500	57.5%	±0
全社又は消去	4	—	—	—	—
経常利益	1,024	1,850	2,150	47.6%	+300
当期純利益	574	1,100	1,250	45.9%	+150

※震災の影響が当初想定範囲内に収まり、上期の業績は計画を上回る。

下期についても当初想定範囲の震災の影響はほぼ解消すると見込み通期で業績予想を修正。

長時間に渡り、
ご清聴ありがとうございました